



元氣ある店に人集る
 拾五歳以下の少年店員を募ります。よく將來を考へ他日立派な商人たらんとする方はお申出でを
 店の組織(卸部一三丁目十五番地)卸部にて外交的手腕を養ひ、小賣部にて販賣仕入に熟達せしむ
 (優遇の途あり、詳細面談)
 小間物商 **大黒屋商店**
 化粧品 平町三丁目(電話一七〇番)

電気時計

店頭ニ正確ナル時計ヲ取付
 マシタ御通りノ際ハ御合せ
 下サイ

秋の夜長には蓄音器
 一家開樂には蓄音器
 新譜各種取揃ました



平町四丁目
會田時計店
 電話三六三



不思議に
 まじしエキス
養命酒
 横森醫學博士推奨
 一圓二圓
山野邊藥局
 平町五丁目角



日刊 発行所 平町長崎町三五番地 電話六三〇番

定部金貳錢 廣五號十二 刊休日曜入祭 郵局掛成郡平町長崎町三五番地 發行所 電話六三〇番

刊夕日十二月九

召し上れ
 飛切り美味しい
 マツモトの
ヤトモツマ
 一本拾錢
 番四一二話電

外科
 入院應需
上田外科醫院
 平町南町
 電話一二九番

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
 平南町(電話一七〇番)

胃腸 科内 二十專
 科虫腸指
梅毒 科内 婦淋 二人病病
 科包專門
 病門 院病村松
 部科外 部科内

標商錄登

醬味鰹酒罐食品
油噌節類詰品
 屋問造製
社會名合崎山屋鹽
 電話 營業部 一〇番
 工場 二七番

地所埋立請負
 弊社南町裏ニ土砂運搬軌道敷設中ノ處今般竣工事業開始致候ニ付全方面一般ノ地所埋立請負仕候間多少ニ拘ハズ御用命相願候
 平町字四町目二番地
工榮商會

九月十日開設
 外科 日本醫學士 河井壽雄
 耳鼻喉科 日本醫學士 河原英雄
 小兒科 順村島耕造
 內科 順村馬次郎
 産婦人科 丸山シヅ
 泌尿器科 北村馬次郎
 藥局 順村馬次郎
博愛病院
 平町田町横丁(横内耳鼻科醫院跡)

寄書

地方青年に望む
 吉澤佐嘉英

(一)
 忍苦を以て最大の惱みとし不幸としてゐる現代青年は意義なく競いて權門に媚びを觀る、實に慨嘆に堪へないのである。今や幾多の思想問題は渡來し到る處に害毒を流してゐる。此の時に當り薄志弱行の青年をして危險極まる道程に導き迷はせつゝある。青年諸兄よ、忍苦は人類の表章である。それは永久の法である。子供が生きたが爲には母親が

苦るしむ。又命は死より來る。小麥の生長するためには種子が滅ねばならぬ。如何なる國家も苦るしみの火を透して淨化されたのである。忍苦は年々の存在に欠くことの出来ない條件である。忍苦は年々の活動の原動力であることを認めなければならぬ。徒らに物質價值を過重視するの弊に陥らず祖先の孤劍を提げて立ち危険思想を撃退し雄々しく地方開發の爲に最善の努力あられんことを切に望むのである。

レニン曰く「乃公一度マルクス主義を實行せば世界の人類は悉く乃公の爲す所に倣ふべしと思ひしに、文明國民は却つて乃公の爲す所に反對せり。」と、歐洲大戰以來歐米の文明國民は、ソヴィエント露西亞を憎惡したのである。廣東の愚民は一時之れが宣傳に乗せられたが今日では最早一掃せられたと傳い聞く。而して露西亞でさへも既に共產主義を棄て、社會主義も捨て元の通りに次第に資本國となりつつあるのである。



南裡新道路を速く 貫通して欲しいと

新川町と長橋町から 川淵知事へ請願

平町南裡の新道路東端突當りの貫通道路敷地は幾多の難關を経て漸く土地買収の交渉も纏つたに拘らず同道路工事に對する縣補助の査定が完了し、ない爲め貫通工事に着手する事が出来ないで這般新川町住民七十餘名連印を以つて川淵知事に對し縣補助査定の一日も速やかならん事を陳情書に認め提出したが同道路の西端長橋町に連結貫通すべき箇所も矢張り如上の次第にて未だ

日本基督教會 獻堂式次第

廿四日舉行

平町南町日本基督教會にて廿四日午後一時より獻堂式執行左記順序に依りて式次を進行し午後三時から階上社交室にて茶話會を開く

團體の申込

平驛の状況

秋も漸く酷となり旅行期節に入つて此れから團體旅行が多くなるが平驛の昨年度に於ける團體旅行取扱件数は十件で主に伊勢參宮を兼ねての關西方面見物及び松島遊覽等が多かつたが本年も大体昨年同様らしく十八日には箕輪村から參宮團體四十名ばかりの申込あつたのを皮切りに引續き學校等の申込もあらうと驛員は語つてゐた

急行停車

植田町有志が

石城郡植田町の停車場には急行列車が停車しないので同地方人は非常な不便を感じてゐるが今午午前二時の準急行を同驛に停車せしむる様地方有志から水戸運輸事務所仙台鐵道局鐵道省等に請願書を提出した

ヒス婆さん

土蔵でい首

石城郡赤井村大字西小川字仲町松太郎母松崎チヨ(六八)は日頃強度のヒステリーにて口癖の如く死んで仕舞ふと云つて居たが去る十八日午前八時自宅土蔵で縊首したのを松太郎の妻クマが發見平署より検視官出張した

農事講習會

石城郡神谷村石城農試分場では廿一日舊八月十五日午前九時から午後三時迄同場に於て農事講習會を催すが講師は郡山農事試驗場田中技手で紫雲英の栽培並に麥作についてである

兎の耳

工場主が張つた電線にその娘がかつて即死す千葉縣山武郡白里村北今泉機業大山啓造は村内の若者が毎夜女工寄宿舎を襲ひ風紀を紊すので彼等をしてしめのため場内に電氣仕掛の鐵條網を張つて置いた

天氣

北西の風曇り一時晴れ



月見料理

月澄む夜頃となりました、仲秋の月見ももうすぐであります、そこで月見にふさわしい料理を掲げます、

▼芋豆腐 材料は里芋五合、葛粉大匙二杯、浮粉大匙二杯半、煮出し汁一合五勺、砂糖四十匁、胡麻五勺です、後で里芋の皮をむき、柔かくゆで、裏漉して置き、す、胡麻は煎つて摺りつぶしておきます、それから里芋の中に砂糖大匙一杯と鹽少量葛粉と浮粉を煮出し汁

五勺程にてとき、よく混ぜ合して折箱の縁を糸で結び置き濡布巾を敷き里芋を入れて蒸籠に入れ約三十分ほど強火で蒸し適宜に切つて皿にもり、胡麻味噌をかけます、胡麻味噌は胡麻、味噌を摺り混ぜ砂糖大匙一杯半と煮出し汁を適宜に加へてすりのばして用ゐます

靈的正人

濱口熊嶽の靈術を觀る

三密秘法即ち魔術不思議の不思議の術を以て施せば疾患者ながらに拭ひ去るが如く平癒すると聞いたばかりで世人は其事の餘りに不思議なのに驚かざるを得ないのであらう、然し乍ら事實であつて夫れが不思議な事であらうが何であらうが疾病の治すと云ふ事實の前に於ては唯夫れを事實と見れば平癒する、目下平町にては平劇場にて毎日午前六時より同九時迄また四倉町海盛座にては午前九時より同十時迄施術中であつて沸

つてをつたのが眞すぐになつたと喜んで禮に來た、尙齋藤留吉氏は神經衰弱が治つたし尙その外澤山あるが紙數に限りあるからこれにて止め置く、尙濱口熊嶽氏の名をきいて近在から大變に押寄せらる茨城縣からも參つておれば宮城縣からも來るといふ始末である、終つて二三縣を施術し英京ロンドンに渡つてナシヨナルホールで施術しシシルホルに泊り現に一昨月の米新聞を送り來るに米國一帶の新聞紙上はジャパニスム一ラが三度目の渡米をする

タイムスも熊嶽の來る事を書いてゐる、熊嶽は人をして其無邪氣なるに親さを感じせしむるが一旦更まつて雪白の行者服を着して患者に向つた時の師は全く平常と打つて變つて靈光巖然一種犯し難きところの人となる、特に濱口師が患者に對して施術する時の發聲其の者に實に響きありて逆も逆も吾等の同胞の何人の口からも聴くことの出きない無濁の聲であるかの如く感する記者が師を訪うて其靈妙なる施術を目撃した後に事務所に來りて五分間ばかり事務員について話を聞いて居る時に各地からわざと

送つて來る疾病平癒の禮狀が埋高く机の上に積み上げられるのを見た又所定の時間遅れて來た無數の患者が事務所を押懸けて來て遠方から來た者ですが何うぞ特別の時間外でも是非施術をして貰ひたいといつて頻りに頼んでゐたが時間が切れたので駄目だと云つて歸されたのが數十名であつた時間勵行には記者も感じたそして記者は其光景のまのあたりに見て世に病人の頗る多いのに驚かされた

募集

文藝其他投稿を募集します